

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 豊橋市立鷹丘小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>

☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒440-0013

豊橋市西小鷹野三丁目7-1

E-mail [takaoka-e@toyohashi.ed.jp](mailto:takaoka-e@toyohashi.ed.jp)

Website <http://www.toyohashi-c.ed.jp/takaoka-e/>

幼児児童生徒数 男子 427 名 女子 359 名 合計 786 名

児童の年齢 6 歳～12 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要

当校は、「自分を、友達を、地域を愛する子」を研究テーマとして、ESDを「地域を愛する子を育てる」と捉え、実践を通して将来にわたって、地域への誇りと愛着を育んでいくことを目標とした。

具体的には、「花いっぱい・本いっぱい・歌いっぱい」を柱に、自然とかかわる活動、知性を重んじる学習、豊かな感性を育てる活動を行った。

#### ① 自然とかかわる活動

樹木や草花、また生き物を育てることさらには、朝倉川の観察を通して、自然に親しみ、自分を自然の一部として感じ、生き物への思いやりの心を育てることをねらいとした。また、野菜などを栽培して食べることにより、収穫の喜びを知るとともに、育てることの大変さを知り、食に対する感謝の気持ちを高めるために、各学年による教材園や一人一鉢を活用した栽培活動を行った。そして、園芸委員会・園芸部によるメイン花壇の栽培管理を行った。また、ビオトープを整備し、メダカやスイレンを育てることで、児童たちの心の癒しの場となった。

## ② 知性を重んじる活動

教育活動の中で「物語に接する」「調べる」「感じる」「楽しむ」など、子どもたちが常に書物に触れる機会を意図的に設けた。

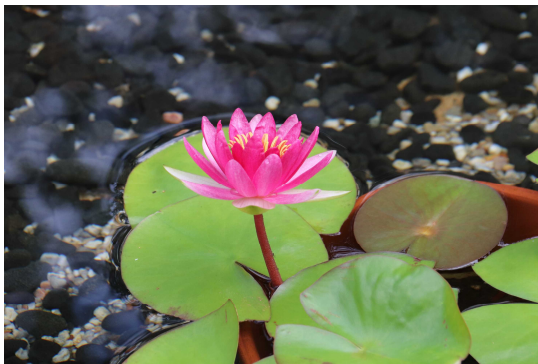
また、学級文庫を充実させたり、PTAボランティアの読み聞かせを「朝読書タイム」に計画的に取り入れたりし、読書に親しむ環境をつくった。

さらには、学習の中に本との関わりの時間を確保し、知的な気づきを促した。

## ③ 豊かな感性を育てる活動

毎月、全校で「歌声集会」を行い、生活の中に歌を取りこめるようにした。また、音楽の時間のはじめに校歌を歌うことで、協調性や学校の連帯感を生み出せるようにした。

子どもたちの生活の中に歌を取り組み、人とのつながりを意識させ、協調性や愛校心を育てていくようにした。



① の写真（ビオトープ）



① の写真（たかのご学級野菜の収穫）



② の写真（ボランティアの読み聞かせ）



③ の写真（月1回の歌声集会）

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

夢を見つけ夢をかなえる航海ノート  
小学校 キャリア教育の手引き  
豊橋市教育振興基本計画

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

○花いっぱい活動

栽培委員会と園芸部が中心となって校内を「花いっぱい」にする運動を行うことで、花いっぱい、自然いっぱいの校区に愛着がもてるようにしている。

○本いっぱい運動

学習の中に本とのかかわりの時間を確保できるように、書物に触れる機会を意図的に設け、知的な気づきを促すとともに、豊かな感性を育めるようにする。

○歌いっぱい運動

子どもたちの生活の中に歌を取り込み、人とのつながりを意識できるようにし、協調性や愛校心を育てる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

生活科や総合的な学習の時間での学習を中心に、横断的に理科や社会科、音楽、国語などの教科とのかかわりも考慮しながら、ＥＳＤカレンダーを作成した。ＥＳＤカレンダーでは、全教育活動、地域に生きながら、地域を愛し、「花いっぱい・本いっぱい・歌いっぱい」の活動に子どもたちが主体的に書かれるように計画している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

教師はふだんの生活の中でも児童を観察し、児童理解に努めた。また、プロジェクト後は、振り返りを行った。さらには、学校評議員を通じた地域の声や、全保護者からの学校アンケート調査をもとに、ＥＳＤ活動の見直しを図り、地域とともに生きる、地域を愛せる鷹丘っ子の育成に向けて活動内容を改善していく。成果としては、学習のまとめを行ったり、発表会を開いたりする中で、与えられたことに対して進んで活動する様子は見られるが、まだ自主的に活動するまでには至っていない。今後さらに地域との連携を深め、魅力のある活動ができるよう環境改善に努めたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

・子どもたちの様々な活動をまとめる。  
・学習や活動のまとめとして、授業公開や「鷹丘発表会」で発表する。  
児童は学習のまとめを行ったり、発表したりする場面では、自信をもって取り組む様子が見られた。さらに自分の言葉で語れるような姿を期待したい。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

4年生では、資源化センターの見学を通してごみの問題について深く考え、自分の生活を振り返るよい機会となった。また、上下水道局や浄水場の見学から、水の大切さも知ることができた。  
朝倉川の生き物調べの際には、桜丘高校の先生に協力をしていただき、どのような生き物がいるかを調べた。今後も連携を深めていきたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特にないので、今後情報収集をしながら進めていきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応

5年生の福祉の授業では、調べ学習や車いすやアイマスクなどの体験活動を通して、障害のある人について理解を深めた。その中で校区に目を向け、バリアフリーに興味をもったり、障害についてもっと知りたいという意欲をもち、鷹丘校区を住みやすい町にするにはどうしたらよいか考える機会となった。また、耳の不自由な方の話や、豊橋で唯一盲導犬とともに暮らしている方の話を聞き、その方たちの気持ちに寄り添いながら話に耳を傾ける姿が見られた。実際に人と触れ合ったり体験する活動は子どもの心に響くと改めて感じた。

(3) 平成30年度の活動計画(200～400字程度)

- ・地域教材の開発に向けた、人材や見学場所の確保
- ・鷹丘校区の教材開発
- ・ESDカレンダーの見直し

1年生

公園探検

新入児や老人会との交流

2年生

校区のお店の見学

3年生

校区の名人に学ぶ会

4年生

朝倉川の観察

5年生

校区のバリアフリー、防災

6年生

校区の文化や歴史調べ

上記のように、校区に目を向けた活動を多く取り入れ、人・もの・ことの中で人がつながっていることを再認識できるようにする。そうすることで、校区をより深く知り、地域を愛する子どもを育てていく。